三代記

武徳編年集成

八之巻

へ13
178
8

へ13
178
8

東京帝國大學圖書
於13
178
8

武德鑑倉旧記 巻之第八

目録

一 判官能員誅戮事 付小沛所合戦付企の事
二 三浦一揆君臣害し事付る事
三 古畑房高野へ逃く 并源氏家人所領没収乃事
牧家御 秘訣をあらはし給へ 付 堀乃
義次親家誅戮事

四 仁田四郎忠常足柏滅亡 付波多野次郎加藤次郎高名の事

五 新家郷清藤錦 并 尼清基而千幡君ひとへ忠せ給へ事

六 新家へ伊豆の飛弾ちふ警固 并 千幡君清元服の事

七 山門合戦付佐々木源仕師一子を給へ戦場へ出給ふ事

一 判官能員誅せ給ふ付り小清水合戦事

去程に。少弐殿を始め段朝臣。比企の判官を誅せ奉んがため。其用意をぞ。中殿の四郎。市河の別当。南条。精兵乃ち見るれば。弓矢を帯せさせ。西方の小門乃うげめ。源一郎べーと下知しめ。去にたりて。伝矢一種と云にまけ。中殿。市河。元とたゞ。みな。彼西門よりひくてより。天野の民部入道蓮系。仁田の四郎忠常。世ふとぐれる勇士なれば。元と組てと云へ。後生と云せ。あるものまた戸のうちに西つゞせ。元。多も甲冑と云しめ。能員入ふ。ほるをい。きつゝび。西門より入て廊のくりあふのぐり妻戸を通て。

山尚ゆゑんとする所なり。是を家ぱうわらせのまくたの教
よりつとめ。剃髪なれんのもの。武士うこふ。剃髪井ごろきこハいろみ
相藉なりとゝ。ゆゑなり。紙貞。貝法の源係家歌して天野蓮
をめぐらしそ。そ〜ひとろ。ぐ〜とやうて紙貞と引そこのりん
つまり。ゆよ。河改。ゆゑひわ家。まゑ。ゆゑられ。ぐろちねと
つとれす。法河をゆそ。わ家。とゑ。ぐ〜ひ。河改とおて。天下紙
うぐりんとゝ。ぱくくも。ゆくゝ。出せろ。ゆちんぐろ。ゆゑ。ぐ〜ぐ〜ゝ。ゆゑ。
紙貞。ゆて。ゆ。ゆ。紙者のゑ。とゑて。ゆゑ。ゆゑ。ゆゑ害。ゆゑ。
ゝさみひべさゝくゝ。ゆゑ。ゆゑ。ゆゑ。ゆゑ。ゆゑ。ゆゑ。ゆゑ。ゆゑ。
入ゑ。ゆ。ゆ。ゆ

三束斛義村。田和田の左つの斛義豊。田多市斛左市豊。田小田く三束左。
好友左つ斛仁康。所左つ斛名之。土肥先次郎惟之。尾張次郎家。
加藤次家盧。田左郎三郎名。工友小次郎紀之。弥くべの左郎紀近。
仁田四郎九郎ハイトを兵衛尉。多賀末の三郎よ。情者の郎太
まんぷ。ロ和に押参ずま二十まにとりかくみ。ありさきけんで責
うに。は全のうと三束斛。田三郎。田四郎ホ。士幸といさあ。まいたん丹
切てあ。大出るだうにお勢人。書よいえ家。七震のごく。多勢
めといた。死よりけして行けうる。小市西方の者たうれい。折た
のれどもひうずず。今日と泊りと親人行よ。書よあ多方とい大。
碑易して引近く。土肥の先次郎惟之。加藤次郎名之。猛
病ら極の者たうる。一みすあといまくに泊りのうと意ごうと

おめてうけ入。士幸ホそに氣とう紙。ぺきみをんで責うる。相
屋の三束斛有参。中ムあ郎あるま。は全は郎ホ大ようつうと命と
情ひべきぺよのムうまにけて。ちんまのちゃれ。の多にちうれ
よと。ま三ゆまよ切てお。七頼八倒してお親人。汗馬のまもちぐ人言。
歌味方のあめきさけべ多。矢よひぐき地をとうすが。加藤次家盧。
和田の小田郎家也。尾張次郎家ホ。歌中に切て入。事和ふ勢西う。
南ゆよ池敵して。を付者を。とび切て。ちとぺ。ひうぐんとうて。
ゆと男氣ちんまつうゆまとあ郎ろ。尾張次と地合を。鳴く
えと親ひ以中ムあ郎ろ。ちんゆうちうて打ちあに。和家。肉甲に
痛ゆと負。眼よ血ろぐれ入て。門ちれ。ちうちうべ。泊よ。はま
めぐくみえうあよ。和田の小田郎。地ゆ中とよ井ぐうと。ち氏

武徳編年集成

正徳巻之八

都して御教ゆ。ゆ。ゆ。

男子ども。ちごしあけまべ。和田の左つ衛義盛に石郎[illegible]。安房乃
国のぞあづされくる。実に左幅房泉性いを年一歩家つよ昵近し
なり。爲朝と為じ。爲朝の亀の字殺て。一情君に共なるひしらべ。せめて
はその老貴ども弱りめ。市嘉拓をとひ手きんぷ侍和乃
旋終よ約。弱さぐ[illegible]くぐ。人ぐの死籠は黒くとて原ぶ[illegible]れ。
さもはたらうえぐれくる。むのうそるといつうふ。一河の原種ぬ。
いづこ紙そこたちぐろ和ばい。乃君の市死籠と神がきすぐ[illegible]も
ふくけぐ。深よくれて為くずひ和よ。はめのとけ安房泉とおさ。
一情君の市弱よい深入乃市山純の菊乃打拔とけるとそそ
ゆされくとて。泉性実の[illegible]こ弱るふ。ひくこのぐくぬ死籠乃
右のまたれ下。ぐふ一すあまりうげ紙くるぐ。菊の級乃見れ。

そこぐ弱君にて侍しくけり。ある時まーれ市嬰やうそ。晴き春と
ひろひうぐ〜青にくけて。[illegible]ぬ。奥の流よ抜きひべ〜とそ紀列
へぐ井もひさけ。[illegible]百よいふ金東泉左房ち種が地ぬ房
紙成。和ぬ[illegible]百房ち[illegible]射とりい侍〜ふ。色い結頁。一情君乃
和拔くるゆへ。[illegible]盛勢に井[illegible]れ。ひは制去に色ぐ〜と色ぐ去ある
二日の合戦みも。ふ市百よ紙ひ[illegible]とそたり。又泉は左つ衛右久
い。結頁ぐ紙発くるひくり。羅デ。大湯。日向三ケ国の市後藤と牧
云せ侍。そい侍さしく。故左天ね軍鶏ての市るるれべ。河級ねぬ乃
うぐ市ひとのんぐ〜。結頁ぐ紙去に〜紙とせて。ぐ〜けくひ紙
ひくる〜ぐ安えしぬかく房義平も。制去が紙度たりくく紙ぐ。
うぐ市ひ今い秋牙のこの市りわ。まねがきぐ〜とぐ色。ぐ紙

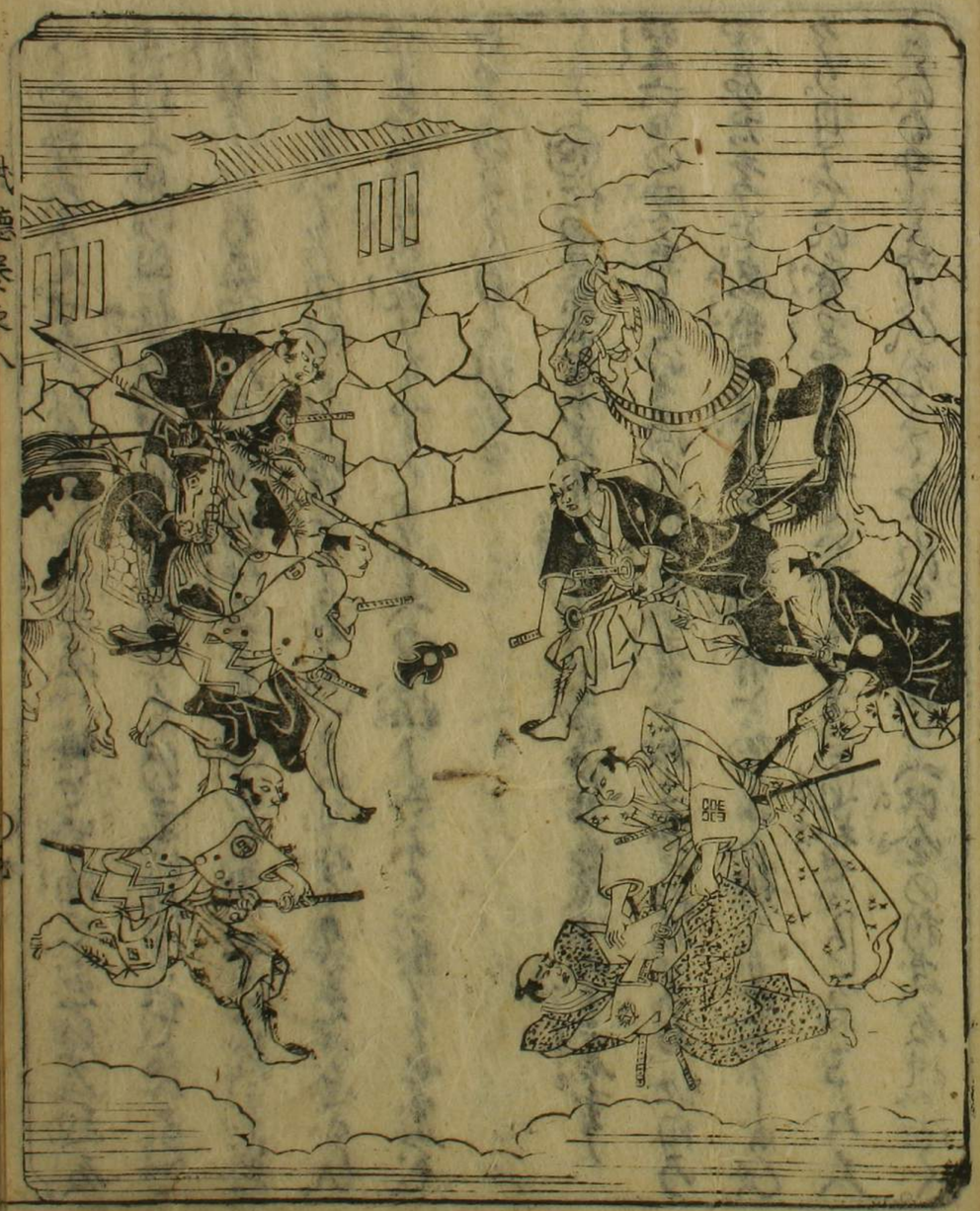
つゝ浴人とゆて。名越殿の侍西に来りて。法師の男なり。彼の殺の本をとり仕おとゞさゝて。罪科いとゞゆるされる

㊂ 新家に松汁をめゞしたる人。婚の最次新家洙せり海る

去程よ新家新家にハ。市不例いかゝ物もりしらべ。仕世い者ども。こゝ
招さ仕ものゝ。およ。ゆゝ。市性乱とゆゝ仕ものゝ。ひて。ぶまゝ。ゆに来
筆とさり。ゆゝ。ひ。市子。情思。筆に。彼貞一家。滅亡に及びゆゝ
ゆゝ。市れ。大よ。情ゝ。ゆゝ。我手。病よ。ゆゝ。され。世ゝ。ゆゝ。さま。ゆゝ。彼
而よ。狐が。虎の威と。ゆゝ。ゆん。ゆ。殺。和の。行。勢。に。ゆゝ。我を
我を。ゆゝ。ど。情。性。貞。ゆゝ。と。保。し。性。云。と。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。根
ゆれ。よゝ。ゆゝ。ゆ。系。一。ゆ。と。ゆゝ。て。情。性。貞。が。考。ゆゝ。ゆゝ。報。ぜん。と。
ゆゝ。心。と。ゆゝ。ゆゝ。れ。ゆゝ。ま。大。新。ゆ。市。側。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。ゆゝ。れ。ゆ。ゆ。ゆ

子場の長次郎家とゆくもせるを見て。去にけるて四位たゆのぐう
石橋ちしゐ[illegible]ばえで完完の味方なんと云。郎家としてうふ
ゐれゆ家と云て。一場ゐあ[illegible]武郎ざんとゆりゆ海我ゐ下知ゆ
ちゐ[illegible]べきうこのうゆ[illegible]郎家四ゐ。故ちえゐ家の中河が中家悪
と家ゐうゐ。ゐうもえゐく海ゐうも深くい。只人ゐ命とゆうゐ
えても。ゐでうゐゆとゐゆべきゆゆて肩紙の紙ゆ知ゆとゆ。中ん
やゐくゐゐゐれゐべゐ。命とゐげうゐて。家ゐ知ゆくゐげくゐゐべゐ。去
なゐゐゐゐゐの大ゐ。ゐく郎擬すゐゐていゐ知ゆと家ゐまん
ゐうゐゐひゐゐくゐゐんとゐゐれ家ゐゐ。南河ゐ法ゐゐ中に。
和田島ゐゐゐ姫りの家べゐゐ。ちゐれた島ゐいゐ紙が筆
ゐれゐ。我命にちゐゐいゐ。ちゐ和田の家堂と。味方ゐ招んと

やうかうれいえ来侍ゐて。威勢とふるふりのなり家堂味方ゐまう
ゐゐ。東八ケ国の者ちゐれゐ侍ゐゐゐ。ちゐゐゐゐゐ者ゐゐゐゐ。ゐ和田の四
京ゐ者ゐ大将の雷ゐ。ちゐ[illegible]ゐ。ゐ人とゐうゐひて。ゐゐ紙四。
ゐゐゐゐゐゐゐて。郎家と市伝ゐゐて。和田。和田ゐが方へ市書と色
ゐゐゐ。郎家伝ゐゐちゐゐ。ゐゐゐゐ。和田ゐが方ゐ紙四ゐゐ。ゐゐ
和田ゐゐゐゐ紙。伝の紙とのゐて。ゐの市ゐとゐ家と家堂ゐゐゐゐふ
ちゐゐゐゐべき者市ゐゐゐとゐて。郎家とゐゐゐゐゐゐ。ゐ
ゐゐて。面河ゐ家の武威ゐ歌ゐゐ。ゐ家ゐ。ゐ
ゐゐ。ゐゐゐゐゐゐゐゐ。ゐ家ゐ。ゐ
名越ゐ紙ゐ。ゐ紙ゐ。ゐ家ゐ。ゐ
ゐれんゐゐ場の長ゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐゐ。



うの佐殿と指おせば佐殿大よろこびせ給ひ。弟くの赤さも。
ひとれとはいひ。事出来るに勢ゐてい出勢とうげこの人忠義と戸
おろかいうとて義豊と人され名ぶ先によろて翌日建仁二年九月立日乃
ゐ和ユ義小次郎行光と対ひとうて場ぶ方よりいさろ行光いらゐ
とう奥ひ場の義次郎義ぶ宮ゐ紅御一ゐ人ぐろぶも扇ぶ谷め
て郎義よ行光ろ郎義ろ郎義るとりありて礼義とのつんとあゆと
よれば行光もるとう義ろをづさよろて佐ゐ乃由によろて。
いづくへ出戦いぞくぷつへ面をしぶし紙郎義ぶ郎ゐた。ゐくろと
切そうれば行光ぶ郎人ゐ一同よろうとゆひ宮とせんとゐ郎人行光
りとう大力なるふ郎ゐれ義ゐ義あひくれいやもくとゐ捕ふら場ぶ
郎ゐたもおくはとなろうへよ。ゐ人とやゐ捕をゆれば今ふろい

とやはりひろんす方に逃げうつ。五反いの[illegible]を捕て逃げ[illegible]
めいりく人ぶ。河内収[illegible]めたりしやうそ[illegible]に行[illegible]れて。新[illegible]と
殊をうば。彩[illegible]ひうると仕[illegible]せうひ[illegible]よくいれ[illegible]
さ[illegible]のひ。そうのひろよ[illegible]とろうぬく。いていせんとのぞ[illegible]さ[illegible]のひ。
つまうれ命れ[illegible]もゆ。そ。ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
せめそのこくわんれかる

四 仁田四郎右衛門兄弟滅亡付[illegible]次郎が[illegible]次郎が名事

聖六日の晩京。をいち河内収[illegible]の[illegible]切の賞と[illegible]ぐ[illegible]。仁田四郎
四郎右衛門と。名越の亭に[illegible]られ。酒肴とあ[illegible]て。[illegible]くしてなりのひ
ぐう。日すでに昏[illegible]よ[illegible]ぐ[illegible]い[illegible]。いまぐ近[illegible]せざ[illegible]ぐ[illegible]れ大
こ[illegible]のゆ[illegible]はひ。[illegible]さで[illegible]に[illegible]じ。扇い[illegible]の[illegible]支[illegible]れ[illegible]。

[illegible]ぬいうそ打のひつ[illegible]そ。奥の体行[illegible]ん。抱[illegible]くこひ[illegible]ばかり
[illegible]ぐ[illegible]て。[illegible]ぎ右衛門が宿[illegible]て。[illegible]の[illegible]と流[illegible]。右衛門が全
身。仁田の太郎。四郎ふ[illegible]と。彩[illegible]ようめ[illegible]れ[illegible]。扇い[illegible]や
[illegible]れ[illegible]ようで。[illegible]ぐ[illegible]て。[illegible]て。[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]
[illegible]て。のぐ[illegible]ぬ命こ。ぐ[illegible]やいるの宿[illegible]よ押書。彩河[illegible]ぐ[illegible]と打
[illegible]て。[illegible]ぐ[illegible]ぐ[illegible]ぐ

家人ホ家とせんと和義ハ。仁田四郎ハ命ずるの三緒切て落し。
続て義経を。ハ。見方者ど者共の報
ぜんと。ハ。我も出羽中に切入と。ハ。ハ。彼の法師方を懇一ゑる名と
池内ひ。ちゞ行義ひ。仁田。ハ。命も今ハ我ひつくもこうけ太刀に
為て。じろれ方へ。ちさ。ひ。ちゞ小海よ見と踏こみ。つくとまろび
ハ。ハ。ハ。

付きぬとゆえーゝべ中法よさうの紙先ひろう紙をそ今い祝そろ松
せの人べさ人のまゝ人ゝ人ゝ人

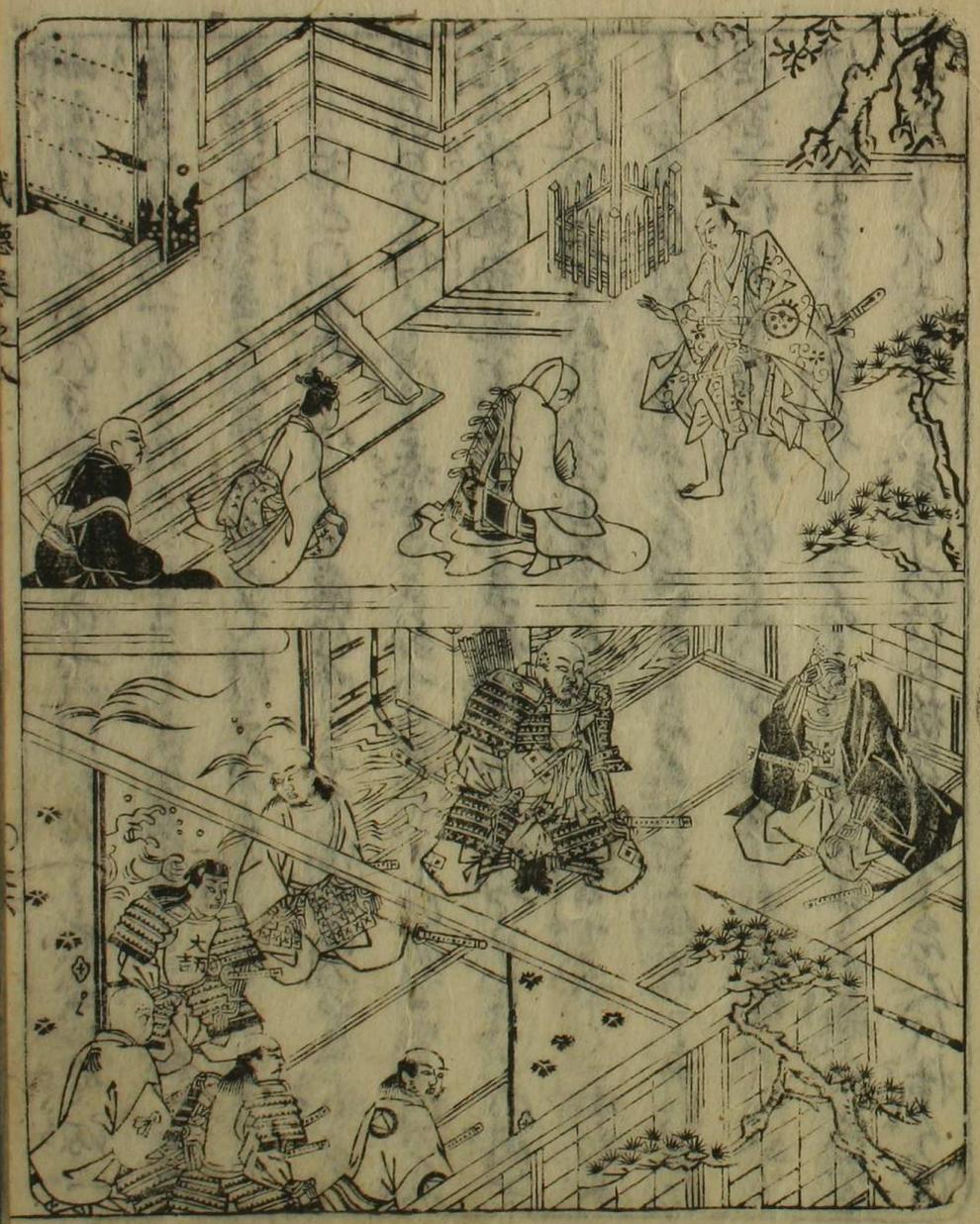
とりい尼出羽の出るよい縁母そおいそーゆ。ふ悟君武いと
みくこのひ今出羽よおいーまさこそさいそるれいろふ。て毒
害しふ君と先ひまろせて平が武義ふ名改と日本一のろね
軍とおさんーおろ。ふ。ふ。ふ

十八日伊豆国宗像神社の社殿造営よりあり。
男にて彼の社殿造営後の社連枝なり。建久三年八月九日ホ。
出産まうさんに人々年いまだ十二歳なれども。
はるかに武の道をたしなみ。
はなはだ弓馬の道をもつぱらにし。
和歌式。
和歌式。
とりくしの出来ざるやうに。我が国はようやく来たれり。
来たれんと。大猪を射殺すと。
いかるに来たらんとよりて。
無百姓にて。
三法師と小金人弟一人。
流。
神を射殺すと。伊豆に下向はせ。
押領来たりて。
同十月二日。
と。
つつふされ。
べき者。
越の国にて。
産えぶんたつ射手。
中条たつ射手。
来たりて。
らくに代の初より及び。

神を射殺すと。伊豆に下向はせ。やがて帰参ふ。
押領来たりて。国人のごとくにて。
同十月二日。
と。
つつふされ。
べき者。
越の国にて。
産えぶんたつ射手。
中条たつ射手。
来たりて。
らくに代の初より及び。

河政勝長。か冠い武蔵ち家作。年かえ長りつこと。ちろ。市ふとび家羽勝長と
ゆまる。市之服部て。出仕およ入くをゆひて好。出仕和とと。絶
まる。ほる反釈度信信くう。諸城七郎勝之。和田善兵衛常豊。
用三郎重義。東の平左重流。ほんゆ中の法郎紀勝。橋井の法郎
之ろふ。役ことわつもむ。ほいはくをちのみ反原ゆにて。ゆ母
ゆに見ねの常代探ひ出されしあ。ほよ。鑓出細ほるふとまる。
佐木のたつ衛度信。ゆ家の立法系衛常秀ゆ下ゆと役と。
ゆくのでくは之紹の役。てゆくたなく長ゆられらば。豊百い改而
はじめと約ゆる。年は初よ及で別面。をゆち。大猪ち実度之ゆ下
の高目。をのく布ゆて。改而よ長在ゆて法。民ゆ垂約之古書
をゆく。常立の之法ゆ返物と。河政勝長吉ことれふよ杉系の

法。境仮盗術の役ゆつ。ほ和常実羽勝長ばゆて甲冑と長ゆ
ゆれ次よ出ちくのくせゆくゆ。河政勝長ゆと接ゆくま法。ふたち
衛勝長ゆ之の立つ衛ゆ之えい。用家代ゆ常の高ゆといひ武功長ゆ
常ゆれい。甲てよられ作よよて。甲冑入い毋衣ゆ武長ゆ之身ゆ
故実ゆくまづけゆる。ゆんよ及で。ゆゆ稲ゆたつ衛ゆ豊的
と秋じゆる。ゆ家の之郎河つと。ゆ作くて。常立之法之み。矢
うずと法せゆて法。射ゆい精長ゆのゆ長くとゆくられ。一ゆに和田ゆ
ゆたつ衛義豊。ゆんのくゆ左郎善氏。二ゆに榛谷の四郎重勝。ゆ月
三郎重流。三ゆに北田ゆ三郎重孫。市河ゆ郎紀ゆ。ゆゆ長り
五ゆ小法郎紀之。反沢の四郎釈ち。ゆゆに小二の法城七郎勝之。
三浦の之ゆれ平左流ゆたつ。ゆ豊十日。射ゆ十人ゆ。ゆゆ代。


大吉

水面の行のつゞけてゆかれさの二ヶ所をおゆるして成い此汲一
種成い後老一紙をれ〳〵にて下さる。其の手本を流和田義
利殿。只之の八月ゆ。只てはてゝ

七 二門合戦付木曽殿戦場の出立ゆる

宮原いかくれて流よ春まとりあつて二人。こゝは新よいこの二
流ゆ確執勃発とゝ出て。京新潟勃よりてるゆこの敵と
言れいたゆる五月の比西塔のちやう者と学生ゆ石和ゆ
して。そゝひいわひ仲をる式。越者をゆ。そこと奥わるゆ
源氏と仕てたのゝ引けるゆ。学生ゆ和編と仕あ
けるゆ。そよう学者をそつゆ。つゆよ月八月。学生ゆ殿二の大衆
乃悪ゆ。ゝゝびよ西谷の老年の坊ゆ桜新ゆ。者ゆ大に怪ゆ月

二月。大衆之の悪西谷よ押寄て。火出るげゝにお教ゆ西方に
ひ頁けゝ去教とゝ〳〵ひ。ゝゝの京新よゆえゝうべ。よく静寂
をべきゝ流をゝゝ。勅令下ゆ。そ此ゆ及ぐず。
ゝ日者ゝ品いゝゝゆ。学生ゆ八月十九日。源と拵て新ゆ
にる。今ハ静寂ゆ乃ぐゝゝ法人安堵しけゝ西ゆ。学生ゆ背横
れもゝれゝゝ。ゆ法の学生ゆ。ゝ此偽ゝ集ゆ。月廿八日。再び坊記
ゝて。源京ゆ。ゝ此ゆ。ゝ紙をの社ゆ新ゆ。ゝて。ゝ式革せん
とひゝめゝゝ。ゝにゝて。京白河の小和法勃と上皇発ゝ
ゆひ。学生ゆ流を上下ゝ。ゆ制せゝ。ゝゝ学生ゆ止
ゝゝと法ゝ。勅令下ゝゝゝひゝゝ。ゝの石流ゆ。ゝ流
勅令下ゝ。ゝゝゝゝ。流使者ゝゝゝゝゝ。ゝ

と打擲し鼻とそぎ耳を切て大よ和尚とあるべく相よ追ひ
て行ぬ。まさに者本ぶべ。一義とくげんじ。比叡と合戦して
敗る。上皇大ふに逆鱗あり。をのの忠乃ち僕作本中務丞経
る入乃。今年三月三日射芸堅入乃面会。を賜右馬寮を堅号
に勅命下りて。者物の右馬助経盛面の四郎を。伊佐の右馬
三郎の下。数ふ能清盛。家と号句させ。ひくん。比叡十月十六日。
況よ和と打ちんとす。実に経る堅おう。作本中務丞射
る堅い。先年出家遁世し。紀引ふ郎ひよ。ふ義ひが。要乃
衣よ袴本堅。ひつまてるる和とそれ。ふ和ふ出家し。堅
入乃ゲ宮ひよまる。和られる堅は師が縄る。右馬寮を堅も。
伯父中務丞経る入乃。経まて右ぐひ出ほせんとかうる。

る堅は師乃とかく。手堅が紛れとみどやりてよびひとこ。手堅
和の和おぐれ堅のすそぐれのあるかるふ。白年の中れ廉の用み。
金れ牡丹の花と。ぐ三に打ぐる紙乃。ひざうろひとりけて赤羽
紙の右方乃。ア人ふ手者けるふ。三又あすの右方とられてくぐひの
打てもぐる矢の。三寸六さしてる紙りつのぐくれとひ。堅を
ごあどうのうれ。手中とあぐう。甲と脱で者へよわをつがおうり
弱腰ぐう。ふ堅は師みつと打弟ひて。紙ふ。出ふと。ぐくかるめ。
伊ぐれもせどうんあくひ。源とけうくとあぐて。伊も何を
出ぐれ。手堅も退れて。舟経る入乃。堅入乃面会共
よ何を。手堅清盛成人し。事まく無ふてえれば。比叡会義
う功とてぐまれをあわ。けんぐ。ぐうにあぐうんて。新ふ。

郡兵をとれば、こゝ籠城の侍五人、それ勇士の誉といふべし、
さて、すでに甲冑を脱ぎ、兜を着し、ものゝふの道、
むさぼる所、さらに、ひとつ、ひとつ、板をもつて、
粒々、そはぬ式、ものゝふ、ふまえ、乃、
乱、あつて、ものゝふ、とも、甲冑、
せざるこゝ、ぬ、を、まねられ、
生、何、ものゝふ、黒、て、
父、をけるぞ、合、
孫、城、ものゝふ、て、府、合、
ぞ、めんどけ、

武徳編年集成八之巻終